

2012年春季闘争終結!

各単組精一杯の労使交渉を展開し



連合2012春季生活闘争・闘争開始宣言
2・10中央総決起集会
全電線の仲間も2012年春季闘争に向け団結を示す



連合2012春季生活闘争・政策制度要求実現
3・6中央集会



全電線 2012年
春闘シンポジウム
春闘に向け挨拶をする
海老ヶ瀬中央執行委員長

2012年春季闘争は、経済・社会や産業・企業実態等のとりまく環境を踏まえるなかで、「労働者の雇用の安定・確保と生活の維持・向上」を基本に取り組んできました。2月21日の要求提出以降、3回の交渉を経るなかで、春闘終盤においては山場対策に基づき最大限の交渉を行った結果、3月23日までに概ねの単組が集約となり、産別統一闘争のもと一定の役割が果たし得たものと判断します。各単組役員の方々に敬意を表すと同時に、中央執行部に対するご協力に深く感謝を申し上げます。

最大限の努力を尽くし 大勢が集約に至る!

金属労協の見解について

集中回答日である3月14日正午に見解を示し、

- ・賃金は「これまでに回答を引き出したすべての組合で賃金構造維持分を確保し、2組合が賃金改善を明確に獲得し、6組合が引き続き検討することとなった」
- ・一時金については、「昨年を上回る回答を引き出す組合が8組合、昨年と同水準の組合が1組合、昨年を下回る水準の組合が14組合となった。いずれも、各組合が組合員の協力・努力を粘り強く訴え、精一杯の交渉のなかから引き出した結果と受け止める」
- ・企業内最低賃金については、「8組合が水準の引き上げを獲得している。非正規労働者の賃金の底上げにも寄与するものであり、労働組合の社会的役割の一端を果たすことができました」としています。

全電線取り組みについて

要求提出以降、産別統一闘争の下、各単組の交渉状況に対応した取り組みを進めるなか、春闘終盤においても労使主張に大きな隔たりがある極めて厳しい状況を打開すべく、各単組は精力的な交渉を展開し、最大限の努力を行ってきました。

賃金について 「定期昇給をはじめとする賃金構造維持分」を全ての単組で確保するとともに、賃金改善については、格差是正や賃金制度上の諸課題も含め、取り組みを進めるなかで、3単組において賃金原資の増額を図れたことは、世間動向から見ると一定の評価ができるものと判断します。

年間一時金について 電線各社の収益状況が円高や電力投資抑制、タイの洪水の影響などから悪化するとともにバラツキがあるなかで、各単組の懸命な努力にもかかわらず、産別ミニマムを確保できなかった単組が昨年より増えたことは、課題が残ることとなりましたが、東日本大震災からの早期復旧や挽回生産、電力不足対策への対応などの協力・努力が反映されたことから、約半数の単組で昨年月数以上を確保することができたことは、精力的に交渉を進めてきた結果であり、一定の理解が得られるものと考えます。

60歳以降の雇用確保について 就労希望者全員の雇用確保を基本に、労働者の立場に立った労働条件の向上に向けて、引き続き労使委員会等で協議を進めることが確認できたことなど、一定の前進が図れたものと判断します。

いずれにしましても、各単組が自力・自決体制を強化し、単組の主体性で、組合員の理解が得られるよう各項目において最大限の努力を行い、精一杯の取り組みを行った結果であると確信するとともに、産別として一定の役割を果たし得たものと判断します。

最後に

今次闘争については、銅電線出荷量が3年連続で70万トンの割れの厳しい状況にあり、欧州の経済危機に加え、円高やタイの洪水被害など、電線産業の足下や先行き懸念が増す厳しい状況下、長時間に亘る精力的な取り組みを展開された各単組、各役員の皆さんに心より敬意を表するとともに、中央執行部に対する絶大なるご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。